

消防大学校における教育訓練等に関する検討会（第2回）

議事概要

1 日 時 令和7年12月24日（水） 15:00～16:45

2 場 所 スクワール麹町「華」

3 出席者（敬称略）

〔座長〕 吉田悦教

〔委員〕 上田伸次郎、大塚大輔、岡本優司、金子裕一郎、下重美佐男、瀬川浩樹、
田中雄章、千葉周平、西本和人、道園由紀、宮川江美

4 議事次第

（1）開会

（2）意見交換

① 主な検討事項について

② 報告書骨子（案）について

③ その他

（3）その他

5 議事概要

事務局から配付資料に関する説明の後、質疑応答を交え、報告書骨子（案）について議論した。委員の主な発言は以下のとおり。

（1）時代に即した学科・コースの展開に関するここと

① 消防分野における女性の活躍促進

【委員】

消防庁として、ハラスメント対策等も含めてだが、女性活躍には非常に力を入れており、骨子案の記述の方向性に異論はないので、ぜひ進めていただきたい。また、女性活躍推進コースの実施回数を増やしていただくのは非常にありがたいので、こちらもぜひ進めていただきたい。

② 時代に即した先進的分野等の講義の展開

【委員】

現在、消防庁では技術戦略について検討しており、骨子案に書いてあるドローン、AI、VR等についても取り上げて議論を進めている。このような成果を将来、幹部になる皆さん、それから、今の幹部の皆さんにも講義の中で展開していきながら、その技術に対する素養というのをしっかりと伝えていければよいと考える。

【委員】

消防団教育については、集合教育のメリットも十分承知しているが、オンラインを盛り込む等、いろいろな形によって研修を充実していただきたい。併せて、出前講座的に現地に赴いて実施することも、正業をお持ちの方に対する教育としては有効なのではないかと考える。

【委 員】

今年度、消防団員向けに、VRで擬似体験をした後に実技の訓練をするという新しい取組を行ったところ、非常に実践的で評判がよく、消防団の方々は、実際に現場に出て、いかに動けるのか、という研修をかなり求めているなということを実感した。

(2) 都道府県消防防災部局・消防学校との連携

【委 員】

都道府県の学校の責務として、消防職員のみならず消防団員に対してもしっかりと教育をしていくことは重要であるが、分団長クラスについては都道府県で、団長クラスについては消防大学校で、国と都道府県がしっかりと役割分担して進めていくことが重要であると認識している。